

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成26年度 第6回理事会 議事録

日 時: 平成26年9月10日(水) 13:00~16:30

場 所: JBAオフィス 8F会議室

出 席: <理事>

深津泰彦会長、丸尾充、梅野哲雄、西川和人の各副会長、星芳樹専務理事、青木隆、河内敏光、岸本和巳、倉石平、小坂悦夫、佐々木三男、鮫島俊秀、庄司義明、高橋雅弘、塚田博己、西井歳晴、野村俊郎、原田茂、林直樹、福井晴次、堀井幹也、森野和泰、吉田長寿、吉田利治の各理事

<監事>

榊原みどり、高原洋太郎の各監事

<特任委員>

内山英司、小倉恭志、片山正明、坂本昌彦の各特任委員

欠 席: 熊谷秀樹、品田奥義、橋本信雄の各理事

議 題

- (1) 「シャンソン代理人からの倫理委員会設置要望書」の答申について
- (2) 平成26年度予算の見直しについて
- (3) 評議員候補者の推薦について
- (4) 第22回FIBA ASIA女子選手権大会 日本代表チームについて
- (5) 第71回国民体育大会以降の各ブロックの出場チーム数について
- (6) 大会要項について
- (7) 第17回Wリーグ 開催地募集要項について

1. 定足数の報告

塚田理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(27名)の過半数の出席数(出席:24名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

2. 挨拶

深津会長より開会の挨拶があった。

3. 報告事項

深津会長より、FIBAから指摘を受けている3点の指摘事項(統一新リーグ設立(2リーグ併存状態の解消)、男子日本代表強化、JBAのガバナンス)についての進捗状況および東京オリンピックのバスケットボール会場の状況に関する報告があった。

4. 議事

議長は深津会長が務めた。

(1) 「シャンソン代理人からの倫理委員会設置要望書」の答申について（塚田理事）

WJBL・シャンソン化粧品部長の代理人弁護士からの倫理委員会設置の要望について、裁定委員会から「WJBLの席上で発生している事実であり、基本規程179条第3項に基づき、本件はWJBLで決定すべき事項であること、また、役職の適格性については評議員会で判断すべき事項であることから、裁定委員会では本件についての調査および審議をしない」旨の答申があり、この答申を尊重することが承認された。

<承認>

(2) 平成26年度予算の見直しについて（星専務理事・塚田理事）

統一リーグ関連、ガバナンス強化(外部コンサルタントへの委託)関連で大幅な追加支出が見込まれることから、一部事業の収支改善、支出削減等も含めて当初予算から一部見直しを行うこと、尚、当初予算の最終収支マイナス1,400万円(損益計算書ベース)に対し、現状の見込みではマイナス1,100万円となっているが、執行状況を見ながら12月末までにさらなる支出削減策を実施して最終的に損益計算書ベースで収支均衡とすることが提案された。

また、あわせてガバナンス強化に関しては、スポーツ界でも実績のある経営コンサルタント会社((株)フィールドマネジメント)に委託することが提案され、いずれも原案通り承認された。

<承認>

(3) 評議員候補者の推薦について（塚田理事）

役員改選に伴う評議員の辞任により、石川県協会から新たに推薦された小林正三氏を評議員候補者として評議員選定委員会に推薦することが提案され、承認された。

<承認>

(4) 第22回FIBA ASIA U-18女子選手権大会 日本代表チームについて（高橋理事）

10月10日～17日にヨルダン・アンマンにて開催される「第22回FIBA ASIA U-18女子選手権大会」に派遣する女子U-18日本代表チーム スタッフ10名、選手12名が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(5) 第71回国民体育大会以降の各ブロックの出場チーム数について（野村理事）

国体改革3巡目に入る2016年・岩手国体(第71回大会)以降の各ブロックの出場チーム数について、出場チーム数変更前(2016年～2018年)と変更後(2019年～)の2段階に分けて次の通り提案があり、原案通り承認された。

①2016年～2018年（ブロック代表:12チーム）

次のブロックの出場チームを2チームとする。

2016年：東海、四国

2017年：東北、近畿

2018年：関東、九州

②2019年～（ブロック代表:少年種別24チーム、成年種別16チーム）

少年種別：7年間を1サイクルとして各ブロックに出場チームを振り分ける。

成年種別：4年間を1サイクルとして各ブロックに出場チームを振り分ける。

<承認>

(6) 大会要項について（庄司理事）

「第66回全日本大学選手権大会(インカレ)」、「第7回全日本クラブシニア選手権大会 第7回全日本クラブスーパーシニア交歓大会」、「第28回都道府県対抗ジュニア大会(ジュニアオールスター)」、「第18回全日本女子車椅子選手権大会」および「第46回全国ミニ大会」の大会要項が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(7) 第17回Wリーグ 開催地募集要項について（高橋理事）

第17回Wリーグ(2015-2016シーズン)の要項が提案され、開催期間は2015年10月9日~2016年3月17日、ゲーム方式は、現行の3回戦総当たりから2回戦総当たりの1次ラウンドと上位、下位に分かれた2次ラウンド、プレーオフについては4チームから8チームによる方式に変更となることが説明され、原案通り承認された。

<承認>

5. 報告事項

(1) 一般報告

2014年7月、8月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) 総務部（塚田理事）

次回理事会は10月8日の開催となること、今年度の予算執行状況、チーム加盟数・競技者登録数の状況、功労表彰の実施スケジュール、オフィス体制の一部変更等が報告された。

(3) 事業戦略部（吉田(長)理事）

男女日本代表の国際親善試合についての開催報告があり、収支等に関しては次回の理事会で報告する予定であることが報告された。

3x3関連ではワールドツアーマスターズの出場報告、ワールドツアーファイナルについてはプレイベントも含めて準備を進めていること、世界大学選手権に関する大会情報、男子3x3日本代表の活動スケジュールが報告された。

(4) 国際部（星専務理事）

8月28日にスペインで開催されたFIBAの総会の概要として、新会長にFIBA AMERICASからムラトーレ氏(アルゼンチン)が選任されたこと、定款の変更等が報告された。

また、7月24日にカタールで開催されたFIBA ASIAの総会および中央理事会の概要として、2015年のFIBA ASIA選手権の開催地が男女とも中国に決定したこと、役員改選ではシェイクサウド会長が再選し、サブゾーン代表では丸尾副会長が東アジア代表に選任されたこと等が報告された。

尚、2015年のFIBA ASIA選手権の開催地が中国に決定したことに関し、2016年に開催される女子の

オリンピック世界最終予選の国内招致も見据えて事前に開催レギュレーションの確認を行うこととした。

(5) **競技会委員会** (庄司理事)

競技日程の一部変更、オールジャパンの大会要項の一部変更、各種全国大会の組合せおよび試合結果が報告された。

(6) **審判委員会** (吉田(利)理事)

国際大会、研修等の海外派遣の状況、指名強化合宿、各ブロックへの派遣講師等が報告された。また、2014 3x3競技規則(日本語版)についても報告があり、3月に開催する日本選手権ではこのルールで実施されることが補足された。

さらに、bjリーグの審判に関する事案については、第1回目の会合を開催し、次回は9月後半に開催予定であることが報告された。

(7) **男子代表チーム委員会** (堀井理事)

FIBA ASIAカップおよびジョーンズカップに関する長谷川ヘッドコーチからの報告書、U-17男子世界選手権大会およびFIBA ASIA U-18男子選手権大会に関する各スタッフからの報告書が提出された。

(8) **女子代表チーム委員会** (高橋理事)

U-17女子世界選手権大会に関する報告書が提出された。

(9) **エンデバー委員会** (佐々木理事)

U-18男子トップエンデバーの時期移行に関する有効性、対応策、工程表、U-14男女トップエンデバーの開催予定、参加スタッフおよび選手等について報告された。

(10) **指導者育成委員会** (倉石理事)

バスケットボール指導教本 改訂版[上巻]が完成し、販売を開始したこと、全国バスケットボールコーチクリニックの開催報告および今後の開催ローテーション(ブロック)、JBA公認コーチの登録状況が報告された。

(11) **国体委員会** (野村理事)

平成27年和歌山国体のリハーサル大会となる教員大会での視察状況、長崎国体における女子U-18日本代表選手の特別措置、滋賀県成年女子・監督の参加資格違反、長野県成年男子の出場辞退等について報告された。

(12) **各種委員会関連** (塚田理事)

各種委員会のメンバー構成が報告された。

(13) **NBL関連** (丸尾副会長)

2015年1月17日、18日に行うNBL/NBDLオールスターゲームについて、ALL BASKETBALL UNITED. をコンセプトに新たにNBL/NBDL1・2年目選抜チーム対大学選抜チーム、高校選抜オールスターゲームなど企画し、開催する予定であることが報告された。

(14) その他 (坂本特任委員)

国際交流を通じた子どもたちの心身ともに健全な育成を目指し、8月20日～22日に「第1回U-12日中交流試合」を実施したことおよびその内容、また、今後も継続して開催していく方針であることが報告された。

以上